

アスパラガスの夏芽高温障害対策①－②

【対策】

①梅雨時期でも天候を考慮したこまめな下温対策 (品質向上対策)

「アスパラガスの光合成適温は 15～25℃、地温は 20～25℃」「ハウス内温度 40℃以上で高温休眠」

②茎葉（二次側枝、脇芽、下枝）の整理

「薄緑の二次茎葉の過剰は栄養成長型となり収量品質低下となりますからこまめな除去作業」

③二次茎葉の過剰な圃場は、光合成促進にカリ肥料の追肥

「急増の夏芽にも、立茎中は糖（同化作用）を地下部に転流してこそ安定します。」

(1) 土壌中のカリ成分の少ない圃場には、カリチャージ 3 袋/10a (2) 灌水時の液肥では、カリっとを 1 kg/10a、7～10 日置

④地下茎、隣芽群の土壌水分確認後の水管理

⑤光合成促進・発根促進・茎葉硬化対策 (1)クドグリーン 500 倍 (2)アミクエ 5 kg (3)PK ゴー2000 倍